



楠の葉

佐賀大学同窓会報 第10号

発行日 2009年1月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学内

TEL 0952-23-1253

FAX 0952-25-5700

E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp

ホームページ <http://dousou.ext.saga-u.ac.jp/>

編集者 前村 晃
代表者

Creative21 母校を考える



座長(同窓会理事)小池 政雄

「Creative 21 母校を考える」というシリーズは最早28回(平成20年9月26日開催)に達している。元々この例会は佐賀大学に強い関心・愛着を持つ者が集まり、大学に関していろいろな要望を申し入れ、豊かな大学運営を行ってもらおうという趣旨で始まった。平成15年10月佐賀医科大学と佐賀大学の統合が実現し、翌16年4月大学は法人化された。このような変革の中で佐賀大学は新しい体制で大学運営を行っていくために学内組織を全面的に検討せざるを得ず、またその結果生まれた大学の姿はおおよそ今までの大学の姿からはかなり異なった、また複雑化したものに見えた。

新しい事情を知らないで大学に対してものを申してみても見当はずれのことにもなりかねない、まずは法人化のあとの大学の内部状況を知る必要がある。そのためには大学運営の中核にある各理事に話を聞き、それを踏まえて大学に意見を申し上げるようにしよう、ということになった。以後4回の例会のテーマ、講師は右記の通りである。

どの話もかなり多くの資料を基にした専門的な話で、その概要をさえ伝えることはなかなか難しいが、まずはその要点のみを紹介する。

第25回例会(平成20年1月25日開催)

「国際貢献と将来計画」

西河 貞捷 理事

今日の大学評価の中でその大学が国際貢献をどの程度果たしているかという観点はかなり大きな比重を占めており、佐賀大学では留学生の数も300を越え、特にアジア地域、中近東諸国に対する国際貢献は相当に高いレベルにあるということを中心にして、海外大学との交流、国際パートナーシップの進展によって多くの学生をアジアへ派遣する計画等について話があった。

第26回例会(平成20年4月24日開催)

「大学コンソーシアムについて」

田代 洋丞 理事

平成19年12月18日、佐賀県下の6大学(佐賀大学、西九州大学、九州龍谷短期大学、佐賀女子短期大学、佐賀短期大学、放送大学佐賀学習センター)が集まり、「大学コンソーシアム佐賀」が設立された。コンソーシアムとは「連合体」を意味するが、大学の場合は、県下の大学等の相互の連携・協力によって、それぞれの教育研究の質的向上を実現し、これを地域社会に還元し、地域社会の発展に貢献しようという試みである。今佐賀大学が中心となってその具体的活動に向けて作業中である。

第27回例会(平成20年6月27日開催)

「社会貢献と広報活動等について」

向井 常博 理事

第25回例会の項でも触れた国際貢献と並んで、地域社会に対する大学の社会貢献はどのようになっているのかの説明を受けた。また、その結果がどのように広報されているのかもあわせて報告いただいた。それによればさまざまな地域貢献事業を推進し、それを地域創生教育に発展させ、学生を取り込み、教育と社会活動を一体化させることによって充実した社会貢献を果たしたい、ということであった。また広報についてもさまざまな広報活動の紹介があった。

第28回例会(平成20年9月26日開催)

「大学の財務の仕組みについて」

野中 修 理事

「国立大学の法人化に伴う予算制度の変更点」についての説明があり、具体的には予算の単位、会計制度、収入予算、支出予算、予算の繰越等についての詳しい説明を受けたが、事柄が専門的事項ばかりであるだけに大学における財政の仕組みを理解するには今後もこの種の学習を続ける必要がある。

東京支部

2年に1回が恒例となった東京支部総会は、11月18日東京でもセレブな街と噂の南青山で開かれました。2年前より支部会員が若干減少し、リーマン・ショック以降の不安な経済情勢も重なり、前回より少ない148人の出席者となりました。

佐賀から久間会長はじめ各学部同窓会役員の御出席をいただき、佐大や同窓会の活動等伺う事が出来ました。有難うございました。

総会に続いて、第1回卒業生の齊藤利夫さんの乾杯の音頭で懇親会が始まり、久し振りに会う顔と顔で佐賀弁

の輪が出来ました。農学部からの「悠々知酔」もあっという間に空になり、同期生毎の近況報告に声援が飛び、出席された3人の女性にもマイクを握っていただきました。

会の半ばには佐大共催セミナーのため上京中の長谷川学長に御来場賜わり、御祝いの御挨拶をいただきました。御多忙の中、大変ありがとうございました。

総会の締はこれも恒例の和田紘一さんの「巻頭言」に始まり、「楠の葉の」の大合唱のうちに、無事閉会しました。石橋支部長が今回で退任され、和田さん(40年文理卒)に引き継がれました。

幹事 江口 充 治(文理・41卒)

佐世保支部(「むつごろう会」)

平成20年11月22日(土)15時より佐世保駅前レオプラザホテルにて第15回「むつごろう会」を開催しました。今回は「むつごろう会」(全学部同窓会)の存在を知ってもらうために700余通のはがきを県北の卒業生に出しました。残念ながら31名の出席でしたが、中でも平成16年卒のお嬢様が参加され、老練な会員の中にあっという間に光採を放ち、会場は終始和やかで華やいだ雰囲気になりました。

会合は総会・講演会・懇親会の順に執り行われ、総会では、事務局長森達郎氏(教育・35卒小)より開催予定日についての提案があり、2年毎に西暦偶数年の11月第3土曜日に開催することが承認されました。もう一件は事務局で長年会計を担当されてきました高田 修氏(教育・34卒小)に替わって幹事の澤田和則氏(教育・45卒小)が会計担当に選任されました。

総会の後、本会の副会長である川島達也氏(教育・43卒小)が『渡る世間の潤滑油』と題して講演をされました。川島氏は長年教育界に身を置き、佐世保市立白南風小学校長を最後に退職されました。

川島氏は登壇されるや否や、突然ハーモニカを吹かれ度胆を抜かれました。全員が瞠目する中、次は350mlの缶ビールの上に乗った蜜柑が出てきました。皆さん何だかおわかりですか?「アルミ缶の上に或(在)るみかん」「アルミカンの上にあるみかん」そうです、駄洒落が出てきたのです。

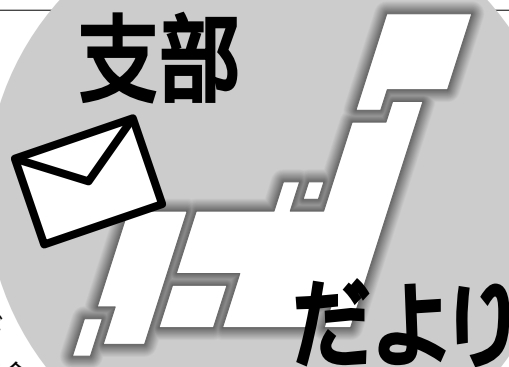
皆さんは、私の話を熱心に聴いていらっしゃいますが、私の話は上へ上へと昇って行くエレベーターなのです。決して下へは降りません。私の話は実に「クダラン」のです。またまた駄洒落の連発!!

会場は拍手喝采の渦に包まれました。私達は川島氏のユーモアあふれる話術に引き込まれていきました。

川島氏が在職中(今から4年前)佐世保市立大久保小学校で忌まわしい事件が起こりました。それ以来、教職員や児童の顔から笑顔が消えてゆき、何とか笑いを取り戻さなくてはとの思いにかられて駄洒落を思いつかれたそうです。

さて、川島氏は心訓として「教師十戒」をあげられました。その中から二つ三つ掲げてみます。

1 子どもを、こばかにするな。教師は、無意識の



うちに子どもを目下の者と見てしまう。子どもは一個の人格として対等である。

2 規則や権威で、子どもを四方から塞いでしまうな。必ず一方を開けてやれ、さもないと、子どもの心が窒息し枯渇する。

3 ほめることばも、しかることばも、真の「愛語」であれ。「愛語」は、必ず子どもの心にしみる。

この「教師十戒」の「教師と子ども」を「父親(母親)と子ども」「上司と部下」「先輩と後輩」「亭主と女房」等に置き換えても十分通用するものだと思います。

最後に、1999年に設立された全亭協(全国亭主関白協会)について話をされました。最近では熟年離婚が多いようです。この協会は「いかに上手に女房の尻に敷かれるか」を追求しているそうです。そして三つの目標を定めています。それは「愛の三原則」です。1.ごめんなさい 2.ありがとう 3.愛している この三つなのです。

会員の皆さん、そして亭主関白を自認している佐賀大学同窓生の皆さん、この「愛の三原則」を実行してみようではありませんか。夫婦円満の秘訣はこれに尽きると思いますよ。

さて来賓の方々は佐賀大学同窓会会長久間善郎氏(文理・37卒)佐賀大学同窓会事務局長副島昭十郎氏(文理・33卒)文化教育学部同窓会会長宮島豊秀氏(教育・35卒)楠葉同窓会会長梅崎正道氏(文理・37卒)楠葉同窓会副会長光岡正登氏(文理・34卒)農学部同窓会会長松尾正紀氏(農学・43卒)理工学部同窓会会長田中正和氏(理工・48卒)の7氏です。

来賓を代表して同窓会長久間善郎氏より佐賀大学の現況と同窓会活動についてお話がありました。「平成16年10月1日佐賀大学は国立大学法人として発足し、現在同窓生は約46600名を数える。文化教育学部12600名、楠葉(文理・経済学部)10500名、医学部3200名、理工学部14100名、農学部6200名である。同窓会は全国に30支部あり、支部大会の折に本部から出席している。同窓会提供のキャリアデザイン講座(2単位)が今年で4年目を迎え人気を博している。佐賀大学の経営委員会にも同窓会は出席し意見を具申している。現在の佐賀大学は学生約7500人、

教職員2000人で、そのうち留学生が300人余で九州では3番目に多い。学生の現況としてはエコノミストによれば実力410社の中で、全国800の大学の中では110位を占めている。プレジデントによれば年収1000万円以上のランクでは34位、医師の国家試験合格者数は31番目である。」ということです。母校佐賀大学が益々充実発展している姿をお聞きして会員一同感銘いたしました。

いよいよ最後に懇親会が始まり、往時を懐かしみながら酒を酌み交わし久闊を叙しました。宴の最後は全員で「北筑遠征歌及戦勝歌」騎馬を進めて多々良浜/秋風深き陣頭に/旗旗は高く舞ひて立つ/いざ北筑の敵来たれ.....と川島氏のハーモニカに合わせて高歌放吟し、2010年11月20日(土)の再会を約しながらお開きとなりました。

会長 杉原 義秋(教育・31卒中)

筑後支部



平成20年度佐賀大学同窓会 筑後支部総会
平成20年11月15日 於：勝島

筑後支部の総会と懇親会は、平成20年11月15日、18時から柳川市「ラソヴィエール勝島」で開催した。本年は総会の前に昭和30年に文理学部法律を卒業された稲益正清氏にお願いして講演会を行った。

本部から久間佐賀大学同窓会会長をはじめ、楠葉同窓会、農学部同窓会、理工学部同窓会の各代表の方々6名ご参加をいただきました。支部の出席者は33名(うち女性4名)でした。久間会長から本部を代表して、佐賀大学や佐賀大学同窓会の近況報告をしていただいた。総会の中で特に私から本年春の叙勲で吉田治氏(昭和35年農学部卒)秋の叙勲で平田泰造氏(昭和36年教育学部卒)が瑞宝小綬章を受章されたことを同窓生の皆さんにご披露しました。

お二人とも福岡県立高等学校の校長でご退職されております。懇親会の席では、出身学部や世代を超えて学生時代の思い出やお互いの近況を報告しあい、酒盃を交わしながら歓談し、有意義な懇談会となりました。

続いて来賓の方と一緒に二次会（西鉄柳川駅前）へと時間の経つのも忘れるほど遅くまで楽しく過ごさせていただきました。来賓の方遅くまでありがとうございました。

支部長 松 葉 萬 蔵（文理・39卒）

大分支部・豊後はがくれ会

豊後はがくれ会総会・懇親会を、平成20年10月25日(土)、大分第一ホテルにて開催した。来賓として、佐賀大学同窓会から、久間会長、宮島副会長、松尾副会長、小池理事、そして秋永監事の5名の方が参加し、親睦の輪を大きく広げた。

今回、会員の参加者は27名（昭和31年～平成元年卒）で、豊後の美味しい刺身を食べ、味わいのある焼酎を酌み交わした。先輩・後輩達は、年齢の垣根を越えて昔話や最近の話題にわいわい、がやがや。

今年度、親睦の和を広げるために、ゴルフ大会に加えて、花見会を開催。まず中津で梨の花の下で、続いて緒方町でチューリップを見ながら焼肉と酒を楽しんだ。奥さん連れも何組があった。さて、来年は何の花を見て一杯やるか考慮中です。

総会は、毎年忘年会シーズンの12月に行っていたが、今年は10月末に開催した。しかし、参加者はいつもと同じメンバーだった。女性の参加者はゼロ。そこで、地区の世話人を決めた。県北：安仲、杵築・国東：清末、別府：中西、大分：浅川・小名川、県西：山下、県南：宗。みなさんよろしくお願いま



佐賀大学大分支部・豊後はがくれ会
平成20年10月25日 於：大分第一ホテル

す。また、女性部会を作ることになりました。世話人は、別府の上村。別府で、昼食+温泉を計画中です。またいつの日か健康セミナーを開催します。

支部長 島 田 達 生（農学・42卒）

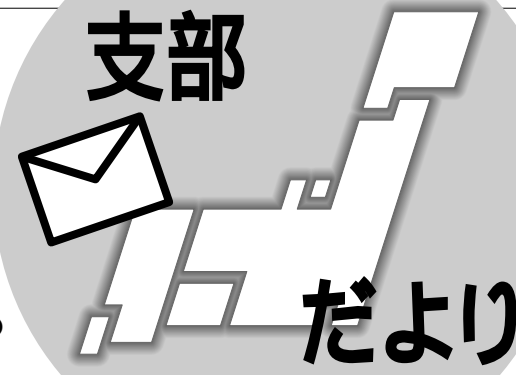
会は情報交換・自己向上の場 - 諫早支部25周年記念 -



秋も深まった諫早平野を見下ろす「グランドパレス諫早」で11月8日(土)支部設立25周年記念懇親会が開催された。本部からは久間会長他6名、島原を代表して福田八郎氏（楠葉33卒）も駆けつけて頂き、一部家族も参加して総勢35名の懇親会となった。

会は荒木事務局長（農50卒）の開会挨拶でスタート。久間会長からの母校の発展振りに耳を傾けた。次いで臼井会長（楠葉34卒）が、支部の活動概況について説明。加えて、「厳しい個人情報管理」また「個人主義」価値観の変化に伴う同窓会の今後の危機感に言及。諫早支部としては同窓の友との出会いによる「異業種の世界」を交換する機関として、今後も地道に集まりを充実してゆきたいと強調。続いて来賓の自己紹介、歓談に入り、佐賀県の史実を問うクイズゲームなどで会場は笑いに包まれた。なお、臼井会長がこの日のために編集した「詩吟」を披露。題して「同胞歓迎の詩」寿福いよいよ開く伊佐早の花 母校の今日はれ蓬菜 亀遊び鶴は舞い人また酔う 無限の歡懐玉杯に在り なお、前回に続いて25周年記念誌の発行を計画。12月発刊予定。

支部長 臼 井 寛（文理・34卒）



鳥栖・三神支部

平成20年10月4日、鳥栖市内のホテルピアントスで第10回支部総会及び第43回「なんでん塾」を開催しました。

同窓会本部から久間会長はじめ3名の来賓、そして楠葉同窓会、理工学部同窓会、農学部同窓会、さらには今回の「なんでん塾」の講師をお願いした、医学部同窓会副会長の佐賀大学保健管理センター長の佐藤武教授を含め来賓7名と参加者16名、合計23名の参加がありました。

各同窓会の近況について報告を受け、その後、支部の活動報告を行い、恒例のなんでん塾ゼミナールに移り、講師の佐藤先生のニュージーランドでの研究に基づく講演を受けたところです。

講演内容については省略しますが 健康で持続可能な社会を指向するライフスタイル 「LOHAS」的生き方について、いろいろなデータを基に講演をいただきました。

参加者一同、あまりがんばりすぎない事の重要性を再認識したところで懇親会に入り、お互いの健康を気づかいながら会を終了しました。

支部長 鈴 木 正 美（経済・48卒）

福岡地区支部 年に一度の晴れ舞台。主役は参加者。

7月11日(金)午後6時30分より、福岡天神のど真ん中「じゃんくう」で、今年も開催しました。参加総数96名。学部別には、文理17名、経済32名、理工17名、農学15名、教育6名。そして来賓の皆様が9名です。会費は男性5,000円、女性および30歳以下は3,000円でした。

常任幹事18名と、今年度当番幹事(昭和42年入学・46年卒業・還暦組)で理工学部の中村哲郎・福田敏計、農学部の古賀紀裕・真鍋隆一の4氏と、計22名で1月より準備し、台本を書きました。

本部よりお借りした「佐賀大学同窓会」の横断幕と、支部で新調した「福岡地区全学同窓会」の旗が、舞台前面に揺れています。裏方の幹事たちは同窓会のハッピーを着て、参加者の来場を待ち、22の卓席へ誘導しています。来賓・幹事を除いて、すべて自由席です。先輩後輩はもちろん、学部も関係ありません。ちなみに来賓の皆様も別々の席です。どの席でもすぐに挨拶や名刺交換が進んでいます。交流劇の幕が上がります。

中村君の司会でスタート。まず佐賀大学同窓会・久間会長に挨拶をお願いし、大学の現状、同窓会の状況等をお話して頂き、会務報告や会計報告は簡単に済まし、早々に本番モードへ。

「カンパ〜イ」と農学部同窓会・松尾会長が高らかに音頭を。佐賀県工業技術センターと農学部と地元酒造メーカーとで共同開発された佐大ブランド酒「悠々知酔」で乾杯です。

久しぶりに再会した参加者（主役）たちは、学生時代や近況を気楽に話し合う「名演技」を披露していった。今回も「シャッフル（席替え）」をして、さらに舞台を回り、熱演を興じ、幕が下りた。

今回特徴は女性が16名、50歳以下が16名、最若手27歳と、女性と若手の役者が増え、喜ばしい傾向でした。

「主役達を繋ぐ仕掛け」が大切だと感じた。

支部長 清 村 克 行（経済・46卒）



学部教員に同窓生 2 名加わる

今後の活躍に期待集まる

本学部では本年度、教科教育講座情報技術担当の中村隆敏氏と、美術・工芸課程彫刻担当の徳安和博

氏をお迎えしました。以下、2人の自己紹介です。宜しくお願い致します。

《自己紹介》



中 村 隆 敏

1. 略歴

- 1986年 佐賀大学教育学部特設美術科卒業
- 2003年 同大学院修士課程美術教育専修修了
- 2006年 同大学院工学系研究科博士後期課程修了・博士(学術)
- 1986年 有田工業高等学校教諭(2008年まで)
- 2008年 佐賀大学准教授(情報技術)

2. 業績

- (1)陶芸学習へのICT活用に関する実践的研究
- (2)ユビキタス社会を創造する先導的人材育成の為に新しい情報教育の提案と実践
- (3) '06日経地域情報化大賞日経新聞社賞受賞
- (4) '06アジアデジタルアート大賞デジタルデザイン部門優秀賞受賞

3. 抱負

有田工業高校で22年間、やきものと情報と映像表現を教え続けてきました。その経験を元に、ものづくりの素晴らしさを学生に伝えていきたいです。トクビと呼ばれていた特設美術・工芸科から始まり、大学院まで佐賀大にお世話になりました。そしてまた、本学教員となり身が引き締まる思いです。ご指導のほど、よろしく願いいたします。



徳 安 和 博

1. 略歴

- 1900年 佐賀大学教育学部特設美術科卒業
- 1992年 岡山大学院修士課程美術教育専修修了・教育学修士
- 1992年 長崎県南島原市立西有家中学校教諭を振り出しに県立大村城南高等学校、県立長崎北陽台高等学校に勤務
- 2008年 佐賀大学講師(彫刻)

2. 業績

- (1)日展入選15回、第38回日展福岡展福岡県知事賞、日展会友
- (2)日彫展奨励賞2回、同第5回選抜展(銀座・ギャラリー青羅)出品、日彫展会友
- (3)平成19年度長崎県教育論文優秀賞(2席)
- (4)平成19年度文部科学大臣教員表彰受賞

3. 抱負

母校で教育・研究活動ができるようになるとは夢にも思いませんでした。これから10年先、20年先を考えたとき、自分の専門分野を深め、教育、地域社会等についても見識を深める必要があると感じています。

どうぞご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

佐賀大学経済学部と楠葉同窓会との 意見交換会



12月5日(金)、ホテルニューオータニ佐賀において、恒例の「経済学部と楠葉同窓会の意見交換会」が開催された。

経済学部からは、富田学部長、平地副学部長、山下副学部長、福島就職担当教授、長(おさ)教授、橋本事務長、キャリアセンターから石本主幹が参加され、同窓会からは、梅崎会長ほか5人が参加した。

まず、主催者側の梅崎会長の挨拶の後、昨年4月に学部長に就任された富田学部長から、学部長職への意欲が述べられた。

続いて、経済学部の出席者からの自己紹介の中で、今年、現役学生が公認会計士試験に合格したとの話題に、出席者から感嘆の声があがった。

キャリアセンターから就職状況について、平成19年度就職率81.2%(就職者数+進学者数/就職希望者)(平成20年5月1日現在) 上場企業就職者84名(学部計216名) 優良・成長企業7,000社(会社四季報未上場会社版)への就職者31人(学部計97人)等の報告があった。

意見交換に入り、同窓会側から

最近問題になっている内定取消しに関する佐賀大

学の状況はどうか。

学生の地元志向はどうか。

就職した学生のフォローの状況はどうか。

半年程度で就職先を辞めるといような傾向は改善されているか。

経済学部卒業生の企業での評判はどうか。

等について質問があり、

内定取り消しは、現在1名の報告を受けている(文化教育学部)。

長崎、福岡、佐賀を地元と考えれば5割を超えている。

卒業後の追跡調査については、具体的には進んでいない。卒業時にメールアドレスを登録してもらう等、具体策を検討中である。

企業へのアンケート調査結果を見ると「粘り強い」など良い評価をいただいている

等の回答があった。

恒例の意見交換会であるが、学生への熱い思い、後輩の頑張りを期待する先輩の優しく厳しい思いが満ちた意見交換会となった。

文責：江口 邦子(経済・52卒)

医学部院内保育園の開設にあたって

2008年4月 佐賀大学医学部に院内保育所が開設しました。

「こどもの杜(もり)保育園」と名づけられ、暖かく子どもたちの育ちを見守る、素晴らしい保育園です。子供たちにとって、かけがえのない、特別な場所となるにふさわしい園を作っていただきました。十時前病院長をはじめ、岡崎先生、藤崎園長、樋渡副看護部長、事務長、会計課長、人事部長、ワーキンググループの女性医師、看護師のメンバー、医学部同窓会や市職員の方々、それと募金により資金を捻出してくださった、医学部全職員の方々、数え上げればきりがありませんが、私たち職員の望みであった保育施設を作っていただいたことに、本当に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

佐賀大学医学部には、付属病院もあり、医師、看護師、そのほか数多くの女性が働いていましたが、保育施設がありませんでした。私は育休期間中、大学に復職することが半ば決まっていたのですが、わが子を見て、ただ離れたくないという気持ちが、院内保育施設がないことへの違和感に変わっていききました。内山倫子先生が以前からその必要性を訴えておられ、また杉森学長も手助けしてくださり、何か行動を起こしてみようとしたのです。2001年全職員にアンケートを行い、結果を宮崎元病院長にも見ていただき、各所に報告しました。その2年後、院内保育施設を考えるワーキンググループが発足することになりました。

実際、本格的に病院が保育施設を必要としたのは、患者7人に対し1人の看護師を配置する政策が打ち出された時期に一致します。2006年に十時前病院長が精力的に動いてくださり、岡崎先生を中心としたワーキンググループが立ち上がり、一気に事がはこんでいきました。機が熟し、成し遂げられる人の力が集結し、それで出来上がったのです。(こう書いている私は実は申し訳ないくらい何もしていないのですけど。)

保育施設を作りたいと考え、なにかできないかと思っている期間、いろいろな意見をいただき、そのたびに女性が医師として働くことの困難さを痛感しました。



「女医のこどもはうまく育たなくて当然。」「保育所、作りたかったら、あいてる会議室でもいいから、こどもつれてきて、おいといたらいいじゃないですか。事実をつくってしまったらいい。」「うちの医局では、女医さんは子供を生んだら、2年くらい休んでもらうようにしています。そのあともフルタイムでは働いてもらいません。それがあたりまえでしょう。」まあ、45年前に言われたことですから、世の中がこれだけ変化し、医師不足がやっと人々に知られるようになり、女性医師の復職を国が方針としてあげるようになった今では、人々の認識も変化していくのかもしれない。

保育施設は、女性が家庭のみにいるのではなく、仕事に就いている場合に必要とされるものです。結婚し、子供をそだて、家庭を守るという女性の役割は、大切な社会の一部です。というよりは、その役割を果たす女性が、まったくいなくなってしまうたら、まるで、森をうしなってから森の大切さに気がつくように、社会の豊かさみたいなものが失われるのかもしれない。それは、男性でも十分果たせる役割といえ、否定はしませんが、女性としての特徴、気質、しくみが、豊かにじっくり育むということに向いていると私は思います。働きながらもその特性は大切にされなければならないのです。

院内保育施設ができることによって、じゃあ、その分仕事をしてくださいね、と今まで以上に仕事を強いられるようでは、作る意味はないと考えます。育てていく親たちの心が常にこどもにつながっているためには、まず親たちが尊重され、親であることを周りにわかってもらう必要があります。生まれるべくして生まれた保育施設ですが、時代に流されることなく、これからも子供とその親たちをも育む場所となることでしょう。そして、私たちのあとから来る医師たちを支え、立派な医師を育てることをも手助けしてくれる保育施設になっていくことを祈ります。

文責：野口 光代(12回生)

卒業生へのメッセージ

8

数理科学科と数学の近況報告


 数理科学科
 学科長 小林 孝行

数理科学科の卒業生の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか？

皆さんが在籍していた当時と比べて、数理科学科は団塊の世代の先生方がご退官され、スタッフもかなり入れ替わりました。また、平成生まれの学生さん達がもうすでに大勢入学しています。大学自体も国立大学法人化後、様々な面で変わってきました。

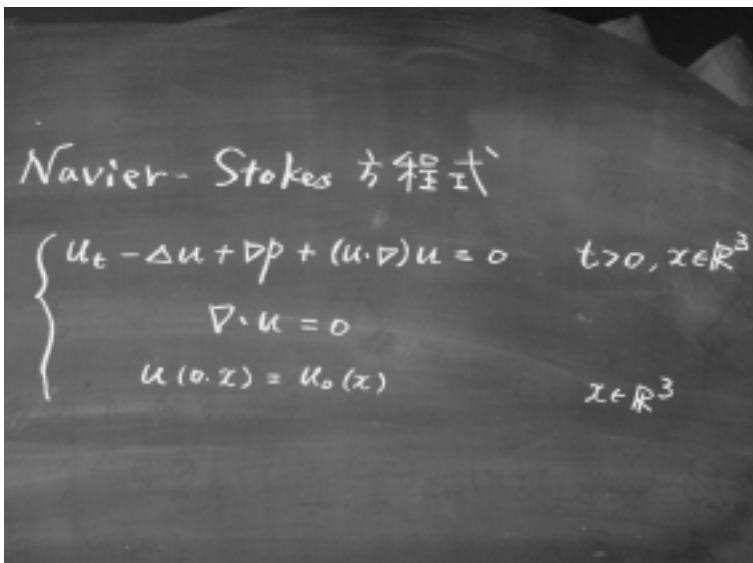
数理科学科も教育目的「数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者を養成すること」そして、教育目標「(A)数学の基本的な考え及び論理的厳密性を修得させる。(B)数学の思考力および表現力を身につけさせる。(C)数学の各分野における論理を修得させる。(D)直面する諸問題を正確に理解し解析する力とプレゼンテーション能力を身につけさせる。(E)社会に広く存在する多様な需要や問題を認識させる。」を定め、新しい時代を担う人材の育成に取り組んでいます。

堅苦しい言葉はさておき、私は昨年、数学を好きな理由を素直に書きました。「数学は「科学のことば」です。自然科学をはじめ、あらゆる分野で数学は活躍しています。数学は本来、さまざまな現象を「科学のことば」によって、論理的にそして厳密に解明する学問であり、とても面白く美しい学問です。歴史的に見ても、人類の文化、文明は自然科学の新

たな発見、発展、進化と共に歩み、数学はその礎を築いてきました。」 私はこの文章を今もとても気に入ってます。

最近の数学の世界では、2000年にクレイ数学研究所が、「リーマン仮説」、「ポアンカレ予想」、「ホッジ予想」、「パーチ、スウィンナートン=ダイアー予想」、「P対NP問題」、「ヤン・ミルズ理論」、「ナビエ-ストークス方程式」にそれぞれ100万ドルの賞金を懸け、21世紀に解決を期待する7つの未解決問題(ミレニアム懸賞問題)を発表しました。2006年、ロシア人の数学者グリゴリー・ヤコフレヴィチ・ペレルマンは、これらの未解決問題のうち、「ポアンカレ予想」の解決と多大な貢献(幾何学への貢献とリッチ・フローの解析的かつ幾何的構造への革命的な洞察力の寄与)をしたことにより、「数学界のノーベル賞」と言われている「フィールズ賞」を受賞しました。しかし、ペレルマン博士は「自分の証明が正しければ賞は必要ない」として受賞を辞退したことは皆さんの記憶にも新しいかと思えます。また一方で、日本人数学者のこれまでの活躍も凄まじく、数学の応用に対して新設されたガウス賞を京都大学名誉教授・数理解析研究所元所長の伊藤清博士が受賞されました。確率微分方程式の創始をはじめとする確率解析の業績とその社会へ与えたインパクトの大きさが高く評価されたからです。伊藤清教授の仕事は、「ウォール街で一番有名な日本人」とまで言われる程素晴らしいものです。(最近お亡くなりになられました。お悔やみ申し上げます。)

現在、教員として数学を教えている卒業生の皆さん、SE等の企業で働いている卒業生の皆さん、そして、各職種で活躍されている卒業生の皆さん、数学は本当に楽しく面白い学問です。時には、数理科学科で学んだ数学を思い出して頂けたら、時には、ニュースや新聞で数学の記事を見て頂けたらと思います。きっと、辛かったことも、楽しかったことも、思い出とともに良き経験が皆さんの役に立つと信じております。卒業生の皆様方の今後の益々のご活躍を期待しております。



「同窓生からの投稿」

宮原諄君叙勲のお祝い

佐賀大学名誉教授 高木 胖 (農学・36卒)



36年農学部卒業生による同窓会「古希の祝い」を7月3日福岡天神の「雑魚屋」で開いた。主賓は宮原諄君で、平成20年春の叙勲の「瑞宝小綬章」受章のお祝いであった。

我々の時代は、就職率100%に騙されて佐賀大学に入学したものの、「他の大学に転学するか?」、就職はとても悪かった。学外では、「岸を倒せ!」の60年安保闘争、筑後川を挟む対岸では全資本と総労働が対決する「三池闘争」があり、世間は全般に騒然としていた。

叙勲の荣誉に輝く宮原君は、建設省(現国土交通省)に入り佐賀河川総合開発事務所長で治水事業に活躍、霞が関に戻っては、職員の天下り先の世話をするエリート官僚の道を歩んだ。「あのポニーテールの彼女はどのようにしている?」、話は50年前に戻る。授業を終えるとスーツ姿に変えてダンスホールに、「ポニーテールのお嬢さん」のキャンディーポップスが流れる、「さあベイビー、楽しくツイストを踊ろうぜ!」と。日本学生自治会による日本農学学生セミナー(?)に出席した。ついでに「銀座ACB」(アシベ)に遊ぶ。山下敬次郎、ミッキー・カーチスがロックンロールをやっていた。リーゼントスタイルの宮原君は農学部自治会委員長として全学スト

の指揮をした。女性関係は灰色である。「今回の叙勲は、国の調査不足である」が、多数意見であった。集まった同窓生は13名、高度成長で社会が拡大するなかで、所長、局長、部長、校長と役職に就いた。いまだ社会に貢献する者もいるが「晴耕雨読」の静かな毎日である。我々32年度入学生は前後の40名に較べて50名と多い。「定員通りだったら、お前さんは居ないよ」と、入学、再試験、そして卒業。先生方は、反骨無頼の輩にとっても優しく校門にピケを張っても処分は無かった。

高血圧、高血糖、メタボと、我々は格段に進化してきた。飲めば飲むほどに、「32年度入学生ここにあり! おりゃ おりゃ おりゃ」、支離滅裂な寮歌と学生歌のくり返しである。物故者追悼(合掌)と近況紹介までは神妙にしていたが、瞬時にして止め金は外れた。医者への注意はイエローカードからレッドカードに。過ぎし日にリセットできた楽しい同窓会であった。

最後に、森田徹君は土建屋であり短歌会の主幹、井原彬雄君はミゾタ工業の専務取締役である。忙しいなか同窓会世話人を引き受けていただき有難うございます。

同窓生の職場 ⑩

有明南小学校



本校は、西に杵島山、東に有明海、また、鉄道周辺には平野を併せ持つ多様な地域からなる校区を持っています。その地理的特色に合わせて、地域住民や保護者の学校への理解や支援体制が大変良好であるという人的特色をも持ち合わせています。そんな中で、全校で147名の子どもたちは、素直で明るく元気に、活動的に、友達と互いに協力し合いながら、学校生活を楽しくしています。

本校では教員12名（県費負担職員）のうち半数

の6名が佐賀大学出身者（有朋会会員）ですが、教育活動を推進するにあたっては、佐賀大学出身者と他大学出身者ということは全く関係なく、常に連携を取りながら全職員が一丸となって、校務に積極的に取り組んでいます。

本校なりの特色ある教育は、「心を育てる教育」の重視です。その方策として、道徳教育の推進、食育の推進、命の教育、体験活動や栽培活動の充実、学校支援サポーターの推進などに重点をおいて取り組んでいます。

体験活動の一環として取り組んだ夏季休業中での6年生の学校キャンプには、佐大生2名にボランティアとして来校していただき、子どもたちと共に活動していただいたことは、学校にも子どもたちにとっても大変ありがたいことでした。

今後もこの事業が継続され、本校にも多くの学生が派遣されることを望みます。

有明南小学校長 宮崎 祐治（教育・54卒小）

佐賀県青春寮歌祭開かれる

平成20年11月23日、日曜日、午後1時より5時30分まで、佐賀市交流センター「エスプラッツホール」に於て、第16回佐賀県青春寮歌祭が開催されました。

今年は全体で30校弱の参加がありました。例年通り、北大の寮歌「都ぞ弥生」に始まりましたが、農大の「青山ほとり（大根踊り）」は、踊りに使われた大根が観客にプレゼントされいつもと同様大人気を博していました。

旧制佐賀高女のメンバーは、平均年齢が80歳に近いとのことでしたが、若々しい声で校歌「古城のほとり」を合唱されました。

旧制台北高等学校の台高踊り歌「対の大屯」、



秋田大学の礦専校歌「天与の富は」などはユニークさを顕示し、長崎大学の高商校歌「暁星淡く」、熊本大学の5寮歌「武夫原頭に」、鹿児島大学の「北辰斜に」などは青春の豪胆とロマンを歌い上げていました。

佐賀大学同窓会諸氏は、学生の混声合唱団コーロカンフォーラの協力を得て、旧制佐高の寮歌「南に遠く」、佐賀大学学生歌「楠の葉の」他を歌いました。

最後は、いつもと同じく、早稲田大学の「都の西北」、「紺碧の空」で締めとなりましたが、寮歌祭後の懇親会では、北大、岡山大、早大、佐大等の同窓生が和気あいあいと懇親を深めました。

キャリアデザイン講座

今回で第4回目となる「キャリアデザイン講座(自己発見講座)」が先の10月8日に開講いたしました。その初日には、久間同窓会長の開講の挨拶に続き、キャリアセンターから受講に当たってのガイダンスがありました。この度の景気低迷で多くの企業が採用を減らすと予想されます。昨年までの「売り手市場」は一変し、就職環境は学生にとって厳しい情勢になりつつあります。

このような背景を反映してか、今回の受講生は3年、2年次学生を中心に約340名と過去最高となりました。先輩講師の生き様、とくに就職活動の体験談には、熱心に耳を傾けていました。これまでの受講生から「講師はできるだけ若い先輩がよい」という要望もあり、それに配慮して講師を依頼しました。受講生、大学側からは、第1回から第3回まで好評を得ております。次年度の開講についても、すでに同窓会への支援の要請がきております。



キャリアデザイン(自己発見講座)の講座日程

講義順	実施月日	内 容	担 当 者
1	10月8日	ガイダンス(講座の進め方)	濱内 繁義 他
2	10月15日	実業界で働く先輩に聞く	佐藤 知佳(経済)
3	10月22日	実業界で働く先輩に聞く	浅山 瞳()
4	10月29日	民間企業・公務員内定合格者体験報告会	在学生(就職内定者)
5	11月5日	教育界経験者の先輩に聞く	田中 敦子(文教)
6	11月12日	教育界経験者の先輩に聞く	吉田 宗平()
7	11月19日	産業界で働く先輩に聞く	澤野 兵造(理工)
8	11月26日	産業界で働く先輩に聞く	塩谷 有弘()
9	12月3日	民間企業・公務員内定合格者体験報告会	在学生(就職内定者)
10	12月10日	医学界で働く先輩に聞く	富岡 譲二(医学)
11	12月17日	医学界で働く先輩に聞く	甲斐 裕子()
12	12月24日	農林・水産業界で働く先輩に聞く	永松 愛子(農学)
13	1月14日	農林・水産業界で働く先輩に聞く	脇屋裕一郎()
14	1月21日	総括(学生の質問に答える)	
15	2月4日	定期試験	



大学及び同窓会の動き

- H20.7.11 福岡地区支部会/ソラリアステーションビル5F「じゃんくう」
- 8.6 佐大同窓会代表役員会
- 21 単位提供講座「キャリアデザイン」打合せ会
- 9.8 佐大同窓会代表役員会
- 26 第28回「クリエイティブ21」/佐賀大学理事 野中 修氏
- 10.4 鳥栖・三神支部総会・懇親会/ピアントス
- 8 単位提供講座「キャリアデザイン」開講ガイダンス
- " 佐大同窓会代表役員会
- 15 佐大同窓会秋期定例役員会
- " 単位提供講座キャリアデザイン/講師 佐藤知佳氏(経済学部)
- 22 単位提供講座キャリアデザイン/講師 浅山瞳氏(経済学部)
- 25 大分支部総会・懇親会/大分第1ホテル
- 29 単位提供講座キャリアデザイン/在学生(就職内定者5名)
- 11.5 単位提供講座キャリアデザイン/講師 田中敦子氏(教育学部)
- 6 佐大同窓会会報「楠の葉」10 編集会議
- 8 諫早支部総会・懇親会/グランドパレス諫早

- 12 単位提供講座キャリアデザイン/講師 吉田宗平氏(教育学部)
- " 佐賀大学同窓会と就職内定者との懇談会/大学会館
- 15 筑後支部総会・懇親会/ランヴィエール勝島
- " 第11回佐賀大学大学祭(本庄キャンパス)~16日まで
- 18 東京支部総会・懇親会/南青山会館
- 19 単位提供講座キャリアデザイン/講師 澤野兵造氏(理工学部)
- 22 佐世保支部総会・懇親会/レオプラザホテル
- 23 第16回佐賀県青春寮歌祭/エスプラッツホール
- 26 単位提供講座キャリアデザイン/講師 塩谷有弘氏(理工学部)
- 12.3 単位提供講座キャリアデザイン/講師 在学生(就職内定者5名)
- 10 単位提供講座キャリアデザイン/講師 富岡譲二氏(医学部)
- " 佐大同窓会代表役員会/グランデはぐくれ
- 17 単位提供講座キャリアデザイン/講師 甲斐裕子氏(医学部)
- 24 単位提供講座キャリアデザイン/講師 永松愛子氏(農学部)